





SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 3 月 15 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
「豊かさをつくる機械の創造」を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
「クラフトニクス～先端技術と伝統的職人技の融合～」をコンセプトに木の香り漂う豊かな暮らしに貢献できる機械を創造する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	・自社で消費する電力の2割を太陽光発電による再生可能エネルギーで賄う。	・太陽光発電設備の設置が完了。消費電力の5割を自給電力で賄っている。	・休憩時間の消灯等、こまめな節電に努め使用量を必要最小限に留める。 ・自給率5割を維持する。
	・社内会議体において有給取得推奨をアナウンス、対前期比で取得率の向上を目指す。	・有給取得率48.7%と対前期比で取得率が向上した。	・社員への周知、取得促進の取り組みを継続する。
	・木工機械の安定供給を行い木材資源の更なる普及を目指す。 ・自社HP等媒体にて「森林・林業・木材産業の魅力」をテーマに情報を発信、携わる林業の循環産業構造について啓発活動を継続する。	・直近1年間で35台の木工機械を供給。 ・自社HPでの林業循環産業構造の啓発は認知が一巡。	・木製品による「炭素貯蔵」に資するべく木工機械の安定供給に努め、引き続き年間30台超の供給を維持。 ・保有技術をシリコン用機械にも転用し革新を進める。
	・避難訓練の実施。 ・BCP取り組みの一環として、社屋及び工場に太陽光発電設備を導入。有事の際においても業務継続可能な環境を整備。	・避難訓練R4.9.1実施。災害時の対策を強化。 ・太陽光設置により自給電力での事業環境が整う。	・定期的な避難訓練を実施。 ・事業における脱炭素環境を維持、向上させる。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社 丸仲鐵工所	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	38 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	望月 清史
5	所 在 地	〒 421-0111	
		静岡市駿河区丸子新田175-1	
6	ホームページURL	http://www.marunaka-jp.com	